



いちよう

MINOGAMI **みのがみの郷**
さと

2021年11月第49号

一人はみんなの為に、みんなは一人の為に
(One for All, All for One)



予 防 接 種

先日、インフルエンザの予防接種を行いました。乾医院の乾先生と看護師さんに来て頂きました。そして当ホームの看護と介護のスタッフも一緒になっての接種です。今年は昨年より流行するのではないかとされていますが当ホームからは一人の感染者も出さないという気概を持って介護にあたります。

なお、10月中に3回に分けて入居者とスタッフの接種を行いました。



秋の点描

私が散歩する川沿いの道には秋の落し物がいっぱいあります。栗、クルミ、カリン、ドングリ、ムカゴ、マツカサ、紅葉の数々、そして、道端には、妖しく稔るまむしぐさ(テンナンショウ)の赤い実、甘いけど種ばかりのアケビも。

以前は利用者の皆さまと大矢田神社の紅葉を見にも行きましたが、コロナ禍では外出もままならず悩ましい日々が続いています。

平均年齢

10月現在のみのがみの郷の入居者の平均年齢は89.7歳、平均要介護度は3.84です。



11月の歌 小さい秋みつけた

誰かさんが 誰かさんが
誰かさんがみつけた
小さい秋 小さい秋
小さい秋 みつけた
目隠し鬼さん手のなる方へ
すましたお耳にかすかにしみた
よんでる口笛百舌鳥の声
小さい秋 小さい秋
小さい秋 みつけた



ぐるめ

ぐるめはすべて手作りです

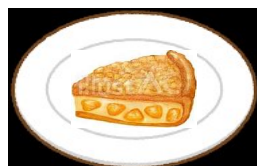
11月11日(木) 紅葉御膳



マグロのツケの
散らし寿司



さつま芋のキンピラ



アップルクランブル



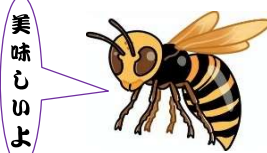
柿の白和え



茶碗蒸し



フルーツゼリー



11月の特別おやつ

いちようのひとりごと

「おそがい」「へーともない」「ねぶたい」この言葉の意味が解りますか。利用者さんとの朝の会話に出てくる言葉です。この地方の方言ですから、私にはわかりますが介護スタッフの中には解らない人もいるでしょう。「それはどういう意味ですか?」「あら、解らないの」と、会話が続けば和やかな雰囲気になります。名古屋市長はいつも名古屋弁で話をされます。でも何かわざとらしくて違和感を感じるのは私だけでしょうか。私たちは利用者さんとの会話に共通語だけではなく自然に出る方言も大切にしてより良いコミュニケーションをとりたいと思います。そして、方言は地域の文化を伝え、地域の豊かな人間関係を担うものであること、ひいては当ホームの人間関係をも豊かにすると考えます。